

令和5年度 第2回 大和郡山市入札監視委員会議事概要書

開催日及び場所	令和5年10月27日（金） 市役所308会議室		
出席者	委員 藏田芳樹、飯島敬子、松山猛 事務局 都市建設部長（東田）、入札検査課長（森） 課長補佐兼入札係長（西尾） 課長補佐兼検査係長（東浦） 入札係（森）		
審議対象期間	令和5年4月1日～令和5年6月30日		
抽出案件	総件数 7件	（備考） 期間内入札等件数 一般競争入札 34件 指名競争入札 4件 随意契約 32件	
一般競争入札	4件		
指名競争入札	1件		
随意契約	2件		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答
	別紙のとおり		
委員会による意見具申又は勧告の内容	特になし		

質 問	回 答
<p>(1) 一般競争入札、指名競争入札及び随意契約の執行状況について (2) 抽出案件の参加資格設定理由及び指名・選定理由について</p> <p>事務局より報告を行いました。</p>	
<p>●抽出案件No.3（市立郡山西中学校トイレ全面改修工事：一般競争入札）について、高額な予定価格案件で落札率が100%近く、また4者中3者が辞退している理由を教えてください。</p>	<p>予定価格は国や県の積算基準に基づいて算出しており、市場価格を反映した標準価格です。 辞退届によると、辞退理由は、技術者の確保が困難（2者）、他の工事と調整がつかない（1者）というものでした。</p>
<p>●抽出案件No.4（市立郡山中学校トイレ全面改修工事：一般競争入札）、No.2（市立郡山東中学校トイレ全面改修工事：一般競争入札）について、高額な予定価格案件で落札率が100～97.5%と高い理由を教えてください。また、応札価格が予定価格に近い本案件は、同一製品、同一工程で多数処理できる工事であると思われませんが、応札価格に妥当性があるのでしょうか。</p>	<p>建築一式の工事は工種が多く、下請業者が多く入るので、それだけ利益率が要求され、落札率が高くなる傾向にあります。 予定価格は国や県の積算基準に基づいて算出しています。 応札価格は請負業者の積算金額であり、予定価格と最低制限価格の範囲内であれば適切な価格であると考えられます。</p>
<p>●抽出案件No.5（農業用水路等長寿命化・防災減災事業 ゴム引布製起伏堰更新工事（筒井地区）：一般競争入札）について、対象者が67者あるにもかかわらず、参加者がいない理由、また本案件のその後の対応を教えてください。</p>	<p>この案件の対象業種、鋼構造物及び機械器具設置工事は格付を行っていないため、土木一式工事の発注基準及び格付基準を準用し、Aランク相当となる経営事項審査の総合評定値850点以上の条件を設定しました。 また、担当課が水門工事の元請施工実績を求めたため、市内業者に限ると該当する業者が限られると推測されたことから、近畿地方整備局管内の業者まで対象を広げて入札を行いました。応札はありませんでした。</p> <p>落札者がなかったため、過去10年以内に同規模以上の水門工事の施工実績のある業者3者から見積もりを徴取し、最低見積業者と随意契約を締結しました。</p>
<p>●抽出案件No.37（市立郡山中学校エレベーター設置工事設計業務委託：指名競争入札）について指名22者に対し半数の11者が辞退している理由を教えてください。</p>	<p>辞退届によると、辞退理由は、他業務との重複、担当技術者を配置できないなどです。</p>
<p>●抽出案件No.63（大和北道路工事に伴う水道仮設工事（発志院町）：随意契約）、No.64（大和北道路工事に伴う水道撤去工事（美濃庄町）①：随意契約）について、「緊急の必要」案件とされていますが、本来この道路工事の基本計画に予定されていた工事工程の一つで日程計画も決まっていたのではないのでしょうか。 時間的な余裕がなく一般競争入札に付することができずに事業主体から急な変更がなされた理由と、工事過程での進捗管理体制はどのようになっていたのか教えてください。</p>	<p>大和北道路工事は、工事の規模が大きく、工期が2～3年と非常に長期にわたっており、当初の工程打合せにおいても撤去工事の時期はかなり幅を持った期間が想定され、実際の工程は大幅に変更されています。工事の工程等については事業主体の請負業者と個別の調整をしており、今回の案件についても、請負業者から市水道へ移設の要請があったのは、橋脚工事の支障となる1か月程度前であり、撤去のタイミングも限定され、一般競争入札に付することが厳しい状況であったため、随意契約（緊急）となったものです。</p>

(3) 入札参加停止措置の運用状況について	
事務局より報告を行いました。	
特になし。	
(4) 案件抽出委員（当番委員）の指名について	
次回の案件抽出委員は、松山委員に決定しました。	
(5) その他	
特になし。	
(6) 次回開催日について	
次回開催は令和6年1月26日（予定）に開催することに決定しました。	